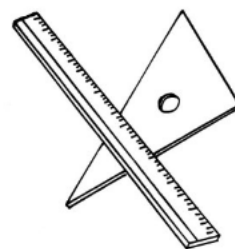
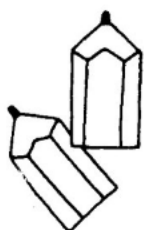


令和7年度

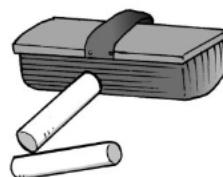


学習のしおり



3学年

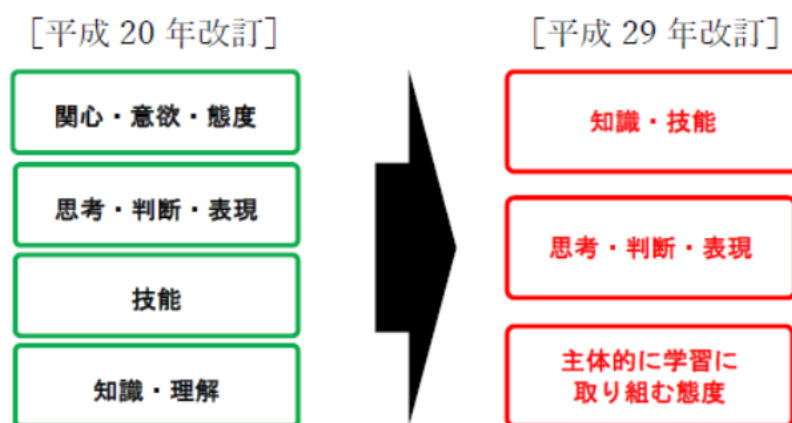
河内長野市立南花台中学校



1. ポイント

学習指導要領の記載に従い、次のような評価を行っています。

- ★「観点別学習状況の評価」をもとに「目標に準拠した評価」で評価しています。
- ★ 1・2学期の欄には、その学期の評価が記載されます。
- ★ 3 学期の欄には、1 年間を総合した評価が記載されます。



【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

(国立教育政策研究所 資料より)

2. 評価…上記3観点に基づいて評価します

・評価のための資料（以下の資料を総合し評価が行われます）

- ① 授業への取り組み（発言・協力・提出物・忘れ物など）
- ② 作品・発表・実習など
- ③ テスト

・評定 目標に照らして、その実現状況を総括的に評価したもの（5段階評定）

- 5…十分満足できるもののうち、特に程度が高い状況と判断されるもの
- 4…十分満足できる状況と判断されるもの
- 3…おおむね満足できる状況と判断されるもの
- 2…努力を要する状況と判断されるもの
- 1…一層努力を要する状況と判断されるもの

（表記：市内統一）

・観点別評価 目標に照らして、その実現状況を観点別に評価したもの（A・B・C）

- A…十分満足できる状況と判断されるもの
- B…おおむね満足できる状況と判断されるもの
- C…努力を要する状況と判断されるもの

（表記：市内統一）

◆本冊子は、各家庭において生徒たちに学習習慣を身につけさせるための手立てや授業に取り組む際の基本的な心構え、さらに1年間の学習内容および学習評価の進め方などについて記載しています。

ぜひ、この機会に、生徒たちの学習がさらに充実するように、ご活用いただきますようお願いいたします。

令和7年度 学習内容一覧表

3年生

河内長野市立南花台中学校

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月					
国語	1 深まる学びへ		2 視野を広げて		3 言葉とともに		4 状況の中で		5 自らの考えを		6 いにしえの心を受け継ぐ		7 価値を生み出す		8 未来へ向かって		
社会	歴史	近代国家の歩みと国際社会（つづき） 二度の世界大戦と日本・現在に続く日本と世界															
	公民						私たちと現代社会 私たちの生活と政治 （個人の尊重と日本国憲法）		私たちの生活と政治 （国民主権と日本の政治）		私たちの生活と経済		私たちと国際社会				
数学	多項式		平方根		2次方程式		関数 $y = ax^2$		相似な図形		円		三平方の定理		標本調査 3年間のまとめ		
理科	1. 生命の連続性 2. 化学変化とイオン					3. 運動とエネルギー 4. 宇宙を観る					5. 自然と人間						
音楽	歌唱、鑑賞、器楽、楽典					歌唱、鑑賞、器楽、合唱、楽典					歌唱、鑑賞、器楽、卒業に向けて						
美術	デザイン・オンライン	遠近法、文字のデザイン 工芸石彫			平和学習のまとめ		染色		立体の構成			色彩の構成・表現 まとめ					
保健	健康な生活と病気の予防					健康な生活と病気の予防											
体育	体づくり 集団行動 体育理論	陸上		水泳		バレー		体育祭練習		サッカー		長距離走		器械運動 バドミントン			
技術	情報に関する技術					卒業制作実習					3年間のまとめ						
	コンピュータの構成、 情報モラルと知的財産		情報通信ネットワークの利用 コンピュータと情報処理、プログラムによる設計、制御		プログラミング、情報に関する技術の適切な評価、活用		木材を利用した生活に役立つものづくり										
家庭	家族・家庭生活					消費生活と環境											
	成長と家族			幼児と家族		購入・支払いと消費情報			消費者の自立			持続可能な社会					
英語	プログラム1	プログラム2 プログラム3		英語落語		Reading 1		プログラム4 プログラム5		プログラム6		プログラム7		日本文化紹介		Reading 2 中学3年間の思い出	

●学習目標

○知識・技能

社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしようとする。(漢字・語句・古典など)

○思考・判断・表現

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。

○主体的に学習に取り組む態度

言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとするとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使用しようとする。

●学習を進めるに当たって

使用 教材	教科書 国語3 光村図書 中学書写 教育出版 副教材 よくわかる国語のワーク3 明治図書 漢字の学習3 明治図書 学習の達成 新学社 問題中心の新文法ノート 浜島書店 3年間の総整理問題集 正進社	持ち 物	教科書 ノート 漢字ノート 国語の学習3 漢字の学習3
学習の 進め方	○ 漢字 漢字を丁寧に書くこと。正確な文字を理解するために、小テストを繰り返し行い、知識の定着を目指します。 ○ 音読・暗唱 詩や文の朗読や暗唱を行い、表現すること、文章のリズム(主に古典)になれることを目指します。また、聞いて理解する力を養います。 ○ 読解 内容の正確な把握を目指し、前後の文章のつながりから読み取る力を養います。文章化されていない部分も、文章化されていることを手がかりに適切に読み取り論理的に思考する態度を育てます。 ○ 作文 自分の考えや思いを適切に表現し、論理的な文章を書く力を養います。 ○ 発表 友達の話や意見を正確に聞き取る力、自分の気持ちをより正確に表現する力を養います。つながり学びあう態度を育てます。 ○ 書写 正確で読みやすい字を、硬筆や毛筆で書く経験を積みまます。		
学習上の 留意点	まずは授業を大切にしてください。しかし、座っているだけの受身の姿勢では、国語力は高められません。外から取り込んだ情報を自分の中で整理し、自分の気持ちや考えを持つことが大切です。そして、それを言葉(文章)にする努力が必要です。国際社会の中で、論理的に考え、自分の考えを持ち、それを自分の言葉で表現する力が重要視されています。国語の授業では論理的思考力と表現力を磨くことを最大の目的としています。難しいことはありません、「やってみよう」という前向きな姿勢で授業に参加してください。		

令和7年度

●学習内容及び評価について（国語科 3学年）

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	『世界はうつくしいと』（2）	知識・技能	○伝統的な言語の文化に興味を持ち、理解している ○言語表現における効果や技能を理解し、実際に使える	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）ノート・プリント・漢字練習等 ○定期テスト ○漢字テスト
5	『握手』（6） 説得力のある構成を考えよう（4） 熟語の読み方（1）			
6	『学んで時に之を習ふ』（5） 『作られた「物語」を超えて』（5） 論理の展開を意識して書こう（4）			
7	文法（3） 『俳句の可能性』 『俳句を味わう』（5） 漢語・和語・外来語（1） 実用的な文章を読もう（3） 読書を楽しむ（2）	思考・判断・表現	話すこと・聞くこと ○人に自分の考えを伝えるための工夫をしている ○他人の話の内容を的確につかみ意見を持っている ○説得力のある話ができる	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）ノート・プリント等 ○定期テスト
9	『挨拶』（3） 『故郷』（7） 慣用句・ことわざ・故事成語（1）			
10	聞き上手になろう（2） 漢字の造語力（1） 複数の意見を読んで、考えよう（6）			
11	考えを効果的に伝えよう（4） 『初恋』（2） 『古今和歌集 仮名序』（1） 『君待つと』（6） 『温かいスープ』（3）	主体的に学習に取り組む態度	書くこと ○目的や意図に応じて構成を考え、的確に書いている ○進んで文章を書いて考えをまとめる	○授業での取り組み態度（観察） ○提出物（点検）ノート・プリント等 ○定期テスト ○作文等
12	『夏草「おくのほそ道」から』（5） 『それでも、言葉を』（4） 『アラスカとの出会い』（3）			
1	合意形成に向けて話し合おう（4） 『律儀な桜』（2） 文法復習（2） 『わたしを束ねないで』（2） ディベート（4） 3年間の歩みを振り返ろう（4） ※順序が変わることや他の教材を用いることもあります。			
2				
3				

●学習目標

- 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べてまとめようとする。【知識・技能】
- 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多角的・多面的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしようとする。
議論しようとする。【思考・判断・表現】
- 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする。【主体的に学習に取り組む態度】

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書(歴史、公民)、地図帳、授業プリント、ワーク、白プリなど	持ち物	教科書、授業ノート、授業プリント、ワークのり、色ペン、色鉛筆など
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○ 授業を前向きな姿勢で集中して受けることができるようにしておく。 ○ 発問に対して、積極的に考えてみる。 ○ 作業を丁寧に行い、資料を使いこなせるようにする。 ○ 積極的に話し合いに参加し、自分の意見が言えるようにする。 《家庭学習》 ○ 予習・復習を大切にし、授業で学んだ内容を家庭で確認しておく。 ○ 授業でとった板書内容やメモを整理しておく ○ 新聞やニュースなどを見る習慣をつける。 ○ 自主的・計画的に課題に取り組んでいこう。 《定期テスト》 ○ 基礎的な内容や意味をまとめて理解しておく。 ○ 授業内容をしっかりまとめ、確認しておく ○ グラフや表などの資料が読み取れ、地図を使いこなせるようにしておく。 ○ 時間内で解答できるように、時間を意識して解答に挑戦する。		
学習上の留意点	○ 持ち物を忘れずに持ってくるようにする。 ○ プリントやノートをしっかりまとめ、先生が話した内容などのメモをとることができるように、日頃から意識して授業にのぞむ。 ○ 「知ろうとする態度」、「考えぬこうとする態度」、「学び合おうとする態度」を大切に。		

令和7年度

●学習内容及び評価について（社会科 3学年）

学習計画		評価に当たって			
月	単元計画		試験	評価の観点	評価の場面・方法
	歴史	公民			
4	近代国家の歩みと国際社会(続き) 10		実力 期末	知識・技能	定期テスト 実力テスト 提出課題 など
5	二度の世界大戦と日本 18				
6	現在に続く日本と世界 15				
7					
8			チャレンジ 実力 期末	思考・判断・表現	定期テスト 実力テスト 提出課題 など
9		私たちと現代社会 15			
10		個人の尊重と日本国憲法 20			
11		国民主権と日本の政治 20			
12		私たちの生活と経済 25	実力 学年末	主体的に学習に取り組む態度	学習態度 提出課題など
1		私たちと国際社会 13			
2		私たちの課題 4			
3					

●学習目標

<知識・技能>

- ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解しよう。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けよう。

<思考・判断・表現>

数学を活用して事象を理論的に考察する力、数量や図形などの性質を見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けよう。

<主体的に学習に取り組む態度>

数学的活動の楽しさや図鵜額の良さを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善したりしよう。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「新しい数学3」東京書籍 ワーク「よくわかる数学の学習」 リトライワーク スピード80 3年間の総復習 まとめ問題集 授業配付プリント	持ち物	教科書 ノート ワーク ファイル スピード80ファイル
学習の進め方	<確かな学力を身につけよう> ・授業を前向きな姿勢で集中して受ける。 ・積極的に発表や質問をする。 ・分からない部分はその日のうちに解決する。 <家庭学習について> ・復習を大切にし、授業の内容を確認しておく。 ・学習した内容を問題集などで、練習する。 <定期テストについて> ・教科書やノート、プリントをしっかりと見直しましょう。 ・授業の内容をしっかりと、確認し、反復練習をする。 ・解き方や公式を理解し、使えるようにする。		
学習上の留意点	私たちは生活の中で、いろいろな計算を使います。そして様々な活動をするときに、どの方法で取り組めば能率的に行えるだろうかということを考えます。また、人に何かを説明するとき、順序立てて話さないと言いたいことがうまく伝わらないこともあります。数学は計算力だけでなく、そのような力をつけるための時間です。だから答えを出すことだけを考えるのではなく、答えを導き出す過程を大切にしてください。		

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点		評価の場面・方法
4	1章 多項式(19)	中間テスト 期末テスト	知識・技能	・数の平方根、多項式二次方程式、図形の相似、円周角と中心角の関係、三平方の定理、関数 $y=ax^2$ 、標本調査などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・授業観察 ・定期テスト ・実力テスト ・小テスト等
5	1節 多項式の計算 2節 因数分解 3節 式の計算の利用				
6	2章 平方根(16)				
6	1節 平方根 2節 根号をふくむ式の計算 3節 平方根の利用				
7	3章 2次方程式(15)				
7	1節 2次方程式とその解き方 2節 2次方程式の利用				
8					
9	4章 関数 $y=ax^2$ (17)	中間テスト 期末テスト	思考・判断・表現	数の範囲に着目し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し、図形の性質や軽量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、標本と母集団の関係に着目し、母集団の傾向を推定し判断したり、調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を身に付けている。	・授業観察 ・定期テスト ・実力テスト ・小テスト等
10	1節 関数 $y=ax^2$ 2節 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 3節 いろいろな関数の利用				
11	5章 相似な図形(23)				
11	1節 相似な図形 2節 平行線と比 3節 相似な図形の面積と体積				
12	6章 円(10)				
12	1節 円周角の定理 2節 円周角の定理の利用				
1	7章 三平方の定理(13)				
2	1節 三平方の定理 2節 三平方の定理の利用	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習にいかそうしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。	・授業観察 ・定期テスト ・実力テスト ・小テスト等 ・自習ノート等
2	8章 標本調査(6)				
3	1節 標本調査 予備時間(21)				

●学習目標

○知識・技能

理科に関する知識や原理・法則などを理解し、観察・実験に関する操作を身に付ける。

○思考・判断・表現

理科で学んだ知識や観察・実験から得られた結果から、規則性や新たな疑問を考える。

○主体的に学習に取り組む態度

意欲、関心をもって課題に取り組み、自主的に探究活動や提出物ができる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	未来へひろがるサイエンス 3(啓林館) ファイル 最新理科便覧 学習整理 理科 1 年(ワーク+ノート) 整理と対策 理科	持ち物	・未来へひろがるサイエンス 3 (啓林館) ・ファイル 最新理科便覧 ・学習整理 理科 1 年 (ワーク+ノート) ・整理と対策→指示します。
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○ 自然の様々な現象に興味・関心を持とう。 ○ 学習の目標をとらえ、内容をしっかり理解できるように取り組もう。 ○ プリントや観察・実験レポートはわかりやすく工夫して書こう。 ○ 実験をする際は、基本操作や記録の技能を身に付け、見通しをもって取り組もう。 ○ 宿題はもちろん、家庭学習もしっかりやろう。 ○ わからないところは、自分で調べたり、誰かに質問したりして、必ず解決しよう。 《家庭学習》 ○ 復習はその日のうちに行い、授業を思い出しながら、教科書・資料集などをもう一度見直す。 →分からないところはそのままにしない。分からないところはいつでも聞きに来てください。 ○ ワーク、教科書などの問題を解いてみる。 《定期テスト》 ○ テスト範囲は、テスト一週間前には通知します。 ○ 教科書・ワークなどをよく見直し、十分に理解しておこう。 ○ ワークの問題や配布したプリントをできるようになるまで、繰り返しやろう。 ○ 学習計画をきちんとたてて、実行していこう。		
学習上の留意点	○ 教科書、ファイル、理科便覧、配布したプリントなどは必ず授業が始まる前に用意しておこう。 ○ 理科室への移動はチャイムが鳴る前に完了しておこう。 ○ 授業は真剣に、集中して、積極的に取り組もう。 ○ 先生や発表者の話をしっかり聞こう。 ○ 実験によっては危険な薬品を使うことがあります。また、ガラス器具や危険をとまなうものもあります。先生の指示がある前から器具にふれたり勝手なことをしないこと。 また、実験中もふざけないこと。		

令和7年度

●学習内容及び評価について（理科 3学年）

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点		評価の場面・方法
4	単元 1 生命の連続性	中間テスト	知識・技能	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	・ワークシート ・レポート ・小テスト ・定期テストなど
5	1章 生命のふえ方と成長(8)				
6	2章 遺伝の規則性と遺伝(7)				
7	3章 生物の種類の多様性と進化(5)				
8	単元 3 化学変化とイオン				
9	1章 水溶液とイオン(8)				
10	2章 電池とイオン(7)				
11	3章 酸・アルカリと塩(10)				
12	単元 4 運動とエネルギー				
1	1章 力の合成と分解(7)				
2	2章 物体の運動(10)	期末テスト	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・ワークシート ・レポート ・小テスト ・定期テストなど
3	3章 仕事とエネルギー(9)				
4	4章 多様なエネルギーとその移り変わり(6)				
5	5章 エネルギー資源とその利用(6)				
6	単元 2 宇宙を観る				
7	1章 地球から宇宙へ(6)				
8	2章 太陽と恒星の動き(8)				
9	3章 月と金星の動きと見え方(7)				
10	単元 5 自然と人間				
11	1章 自然界のつり合い(5)				
12	2章 さまざまな物質の利用と人間(5)				
1	3章 科学技術の発展(4)				
2	4章 人間と環境(8)				
3	5章 持続可能な社会を目指して(4)				

●学習目標

- 音や音楽への興味・関心を養い、音楽活動の楽しさを体験することを通して、生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。
- 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、様々な鑑賞を通して音楽の良さや多様性を感じとる。
- 豊かな音楽活動を目指し、基礎的な表現(歌唱・器楽・創作)を身につける。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 中学生の音楽 2・3・下 器楽 ワーク「音楽のハーモニー」	持ち物	・教科書 2冊 ・ファイル ・ワーク
学習の進め方	<授業での取り組みについて> ○興味・関心をもって授業に臨む。 ○授業の準備をきちんとする。(忘れ物をしない) ○話をよく聞き、意欲的に練習や活動に参加する。 ○授業の中で学習した曲について、根拠をもって感想や意見を言える。 <家庭学習について> ○課題プリントやワークを行う。 ○長期休暇(夏休み等)の課題をする。 <定期テストについて> ○実技テストは基本として授業時間に行う。 ○毎回の授業での活動や練習を大切にする。 ○定期テストは毎学期行う。授業内容をしっかりと理解すること。 ○定期テストの中で、音楽の基礎知識を問う。		
学習上の留意点	音楽の様々な要素を知覚し、特質や雰囲気をもどのように感受したのかをそれぞれ確認しながら結び付けていくこと、また、音楽に関する用語や記号などを用いてイメージや意図などを伝え合い、音を媒体とするコミュニケーションである音楽活動に取り組みましょう。		

令和7年度

●学習内容及び評価について（音楽科 3学年）

学習計画			評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点		評価の場面・方法
4	●オリエンテーション(1)	実技テスト	知識・技能	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。	・実技テスト ・期末テスト ・提出物、ワーク内容
5	●詩や曲の背景を理解しながら歌おう 「花」「花の街」(4)				
6	●鑑賞(4) 「ブルタバ」				
7	●楽典(2) ●器楽(8)				
8	●全体の響きや各声部の役割を生かして表現しよう(2)	実技テスト	思考・判断・表現	音楽表現を創意工夫することや、音楽の良さや美しさを味わって聞くことが出来るようにする。	実技テスト ・期末テスト ・提出物、ワーク内容
9					
10					
11					
12	●楽典(2) ●鑑賞 日本の伝統芸能「能」(4)	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	音楽活動の楽しさを体験することによって、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。	・実技テスト ・期末テスト ・課題内容、発言内容
1	●ポピュラー音楽(4)				
2	●卒業式にむけて(4)				
3					

●学習目標

○知識・技能

対象や事象をとらえる造形的な視点について理解し、表現方法を追求し、創造的に表そう。

○思考・判断・表現

自然の造形や美術作品などの、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和などについて考えよう。

主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めよう。

○主体的に学習に取り組む態度

美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もう。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 『美術2・3下』日本文教出版 副読本 『表現と鑑賞』開隆堂出版	持ち物	ファイル 教科書 資料集 単元によって指示された道具
学習の進め方	〔確かな学力を身につけよう〕 ○学習のねらいをしっかりとらえ、目標をもって授業に臨もう。 〈表現活動〉 ・豊かな発想力・計画的な構想力のもと試行錯誤をしながらも粘り強く取り組み、達成感や充実感を味わおう。 〈鑑賞活動〉 ・美術作品などに対して自分の価値意識を持って味わい、自身の意見や感想をしっかりと持とう。 〔家庭学習〕 ○テレビや新聞などで美術関連の番組や記事などに興味・関心を持とう。 ○美術館や博物館で本物に触れる機会をつくろう。 ○自分の作品を飾るなどして、生活の中に生かそう。 〔定期テスト〕 ○定期テストは毎学期行う。 ○授業内で行うテスト範囲についての説明をしっかりと理解すること。 ○定期テストの中で実技テストも実施する。		
学習上の留意点	○チャイム着席を守ろう。 ○授業に必要なものを忘れないようにしよう。 ○説明をしっかりと聞き、授業のねらいを持とう。 ○創意工夫をして粘り強く取り組み、達成感を味わおう。 ○後片付けは責任をもってきちんとしよう。 ○作品の制作ペースには個人差があるため補習や家庭学習で補い、きちんと仕上げて、期限を守って提出しよう。 ○配布した資料は、ファイルに入れるなどしてきちんと整理しよう。		

令和7年度

●学習内容及び評価について（美術科 3学年）

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	オリエンテーション(1) 遠近法(2)	期末テスト	知識・技能 ○感性や想像力を働かせ、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取っている。 ○美術文化や文化遺産などについての理解や見方を深めている。	定期テスト ワークシート
5	文字のデザイン(2)			
6	工芸・石彫(8) ペーパーウエイト			
7				
8		思考・判断・表現	○自分の意図に応じて材料や用具を生かしたり、制作の順序を考えたりするなど、創意工夫をしている。 ○感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に豊かに発想することができる。 ○形や色彩の構成などを工夫し、心豊かな表現の構想を練ることができる。	アイデアスケッチ ワークシート 制作途中の作品 完成作品 定期テスト(実技)
9	平和学習のまとめ(1)			
10	染色(5)			
11	立体の構成(8)			
12	西洋美術鑑賞(1)	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ○意欲的に授業に参加している。 ○作品制作や鑑賞の力をつけるために、楽しく主体的に取り組んでいる。 ○学習内容をまとめ、整理している。	ふり返しカード 授業態度(観察) 制作途中の作品 完成作品 定期テスト 提出物の状況
1	色彩構成(6) 抽象の表現			
2				
3	まとめ(1)			

●学習目標

- * 心身の調和のとれた発達を促し、生涯を通じて康で明るい生活ができるようにする。
- 運動の合理的な実践を通して運動の楽しさや喜びを味わう。
知識や技能を身に付け、運動を豊かに実践することができるようにする。
- 運動を適切に行うことによって、体力を高め、心身の調和的発達を図る。
- 運動における競争や協同の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たすなどの意欲を高める。
健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を身につける。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 中学校保健体育〔学研〕 副読本 中学校体育実技〔学研〕 保健体育ワーク〔あかつき〕	持ち物	・半袖・ハーフパンツ ・ジャージ上下 ・単元で必要なもの (水着など) ・保健体育のノート
学習の進め方	(確かな学力を身につけよう) ○体育分野 ・あらゆる領域での運動能力の向上を図るとともに傷害を通じて自分のできるスポーツが選択できるようにしよう。 ・仲間と協力して互いに励ましあいながら課題に挑戦しよう。 ・ルールやマナーを守り安全な環境で運動を楽しもう。 ○保健分野 ・健康な生活と疾病の予防:健康・安全に関する理解を通して、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、かいぜんしていく資質や能力を育てる。 ○家庭学習 ・生活的自立を心がけよう。(基本的な生活習慣を身に付ける。) ○定期テスト ・日ごろより授業中の説明や資料の解説、などを整理しておこう。(ノート) ・テスト範囲のお知らせプリントで内容を確認してしっかり勉強しよう。		
学習上の留意点	・更衣を済ませ準備や整列をし、始業チャイムで準備運動を始められるようにする。 ・準備や片付けは、当番で協力し合おう。 ・積極的に授業に参加をし、運動量を増やそう。 ・できる、できない理由を考えて運動を行う。 ・できない種目をできないとあきらめないで挑戦しよう。 ・目標に向かって努力をしよう。 ・授業中の説明や話はしっかり聞き、ノートや資料に書き込むようにしよう。 ・保健の分野では準備物の忘れ物をせず、先生の話をしっかり聞き、常に自分のことに置き換えて、考えるようにしよう。		

令和7年度

●学習内容及び評価について(保健体育科 3学年)

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	・体づくり (10)	健康な生活と病気の予防	主体的に学習に取り組む態度	・授業中の活動量(観察)
	・体育理論 (2)			・仲間への声かけ、指示(観察)
	・集団行動 (3)			・授業中の発言、発表の様子(観察・学習カード)
5		期末テスト	思考・判断・表現	・授業中の発言、発表の様子(観察・学習カード)
6	・陸上 (10)			・出席率(参加率)
				・運動の特性を理解しているか(テスト)
7	・水泳 (10)	健康な生活と病気の予防	主体的に学習に取り組む態度	・体の発達・発達に興味を示しているか(観察) 等
8				・自分の目標を持つことができています。
9	・バレー (8)			・授業中のミーティングなど(観察)
		期末テスト	思考・判断・表現	・授業の振り返り確認(ノートや学習カード)
10	・体育祭練習(10)			・授業中の発言(観察)(筆記テスト) 等
				・自分の目標を持つことができています。
11	・サッカー(9)	健康な生活と病気の予防	知識・技能	・授業での活動(観察・記録) 等
12	・長距離走(9)			・授業中の審判(観察)
				・筆記テスト 等
1	・器械運動(9)	学年末テスト	知識・技能	・授業中の審判(観察)
2				・筆記テスト 等
3	・バドミントン(9)			・筆記テスト 等

●学習目標

○技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育てる。

- (1)生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。
- (2)生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。
- (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につける。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書「技術・家庭 技術分野」開隆堂	持ち物	教科書、授業ノート
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○説明はしっかりきこう。 ○何事もじっくり考え、自分にできる精一杯の努力をしよう。 ○わからないところ、できていないところをそのままにせず、学習・実習に取り組もう。 ○できるようになったところ、自分の成長したところに自信を持とう。 ○実習中は、 ・わからないまま作業せず、安全第一に取り組もう。 ・説明や発表があれば静かにして聞こう。 ・教室や技術室は整理整頓をして清潔に保とう。 ・マナーを守ろう。 《家庭学習》 ○学校で習ったことを家で実践してみよう。 ○身の回りで課題を見つけたら、次の学習に生かして学び続けよう。 《定期テスト》 ○学習したことをしっかり復習し、テストに臨もう。		
学習上の留意点	○忘れ物をしない。 ○提出物は期限を守り、きちんと仕上げて提出しよう。 ○実習においては、目的と方法を理解し、安全を第一に取り組もう。 ○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行おう。 ○生活の中で活用できる内容を学習からみつけて実践しよう。		

学習計画		評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価の観点 評価の場面 方法
4	情報に関する技術 ○コンピュータの構成 ○情報モラルと知的財産（以上2） ○情報通信ネットワークの利用 ○コンピュータと情報処理 ○プログラムによる設計、制御（以上2） ○実習：Scratchを用いたプログラミング（1） ○プログラムの設計と製作（1） ○情報に関する技術の適切な評価・活用（1）	知識・技能 期末テスト	○コンピュータを構成する主要な装置と、基本的な情報処理の仕組み、情報をコンピュータで利用するために必要なデジタル化の方法についての知識を身に付けている。 ○インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けている。 ○著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任についての知識を身に付けている。 ○情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ○設計に基づき、適切なソフトウェアを用いて多様なメディアを複合し、表現や発信ができる。 ○条件に合わせてプログラムを設計し、実際にプログラミングすることができる。 ○製作の目的と材料に適した加工を安全に行い、組み立て仕上げができる。 ○材料と加工に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
1	卒業制作実習 ○木材を利用した生活に役立つものづくり（10） ○3年間のまとめ（2）	思考・判断・表現 学年末テスト	行動観察 製作品 プリント 授業ノート 実習記録表 テスト
2			
3			
		主体的に学習に取り組む	行動観察 製作品 プリント 授業ノート 実習記録表 テスト

●学習目標

○生徒の生活の見方・考え方を働かせ、衣食住などの生活に関わる実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育てる。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活のじりつに必要な基礎的な理解を深め、技能を身に着けさせる。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を見つけ解決策を構想し、実践を評価・改善し、考えを表現し、持続可能社会での、先の生活を展望し課題を解決する能力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域のかかわりを考え、協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

●学習を進めるに当たって

教材使用	教科書 「技術・家庭 家庭科分野」 開隆堂	持ち物	教科書、授業ワークノート
学習の進め方	《確かな学力を身につけよう》 ○説明はしっかりききましょう。 ○何事もじっくり考えて、自分にできる精一杯の努力をしましょう。 ○わからないところ、できていないところを明確にして、学習・実習をしましょう。 ○出来るようになったところ、自分の成長したところに自信を持ちましょう。 ○各実習においては、・安全第一に取り組みましょう。 ・説明中は静かにしましょう。 ・清潔にしましょう。 ・マナーを守りましょう。 《家庭学習》 ○学校で習ったことを家で実践していきましょう。 ○家庭では、進んでお手伝いをし、家族の一員としての役割を果たしましょう。 ○生活の中で課題を見つけたら、学習したことを生かし工夫・解決策を考えましょう。 《定期テスト》 ○授業中に学習したことをしっかり復習しましょう。		
学習上の留意点	○忘れ物をしない。 ○提出物は期限を守り、きちんと提出しましょう。 ○くれぐれも安全を第一に実習を行いましょう。 ○実習においては、目的と方法を理解して取り組みましょう。 ○グループの活動では、仕事を分担し、協力して作業を行いましょう。 ○便利なものを利用し、生活をよりよく工夫していきましょう。		

令和7年度

●学習内容及び評価について（家庭科 3学年）

学習計画		評価に当たって		
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	〈A 家族・家庭〉 ○成長と家族 (2)	期末テスト	知識・技能 ・家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域とのかかわりについて理解している。 ・幼児の生活、幼児の心身の発達について理解している。 ・幼児の生活と家族に関する基礎的、基本的な技術を身につけている。 ・家庭生活と消費に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	定期テスト
5	○幼児と家族 (3)			
6	○幼児とのかかわり (2)			
7	○家庭生活と地域 (1)			
8				
9	〈C 消費生活〉 ○家庭生活と消費 (2)	期末テスト	思考・判断・表現 ・家庭と家族関係、幼児の生活と家族関係、地域とのかかわりについて課題を見つけ、その解決を目指して工夫している。 ・家庭生活と消費に関して課題を見つけ、その解決を目指し工夫している。	プリント 定期テスト
10	○購入・支払いと消費情報 (2)			
11	○消費者の自立 (3)			
12	○持続可能な社会 (2)			
1		期末テスト	主体的に学習に取り組む態度 ・家族・家庭、幼児の生活又は地域の生活から問題点を見つけ、その解決に向けよりよい生活を考え、創造し実践している。 ・消費生活の問題点を見つけ、その解決に向けよりよい生活を考え、創造し実践している。	行動観察 プリント ワーク ノート 定期テスト
2				
3				

●学習目標

- ①事前に与えられたテーマについて、なんとか英語でディベートできる。
- ②その場で与えられたテーマについて、80語以上のエッセイを書ける。
- ③200語以上の英語で、「中学3年間の思い出」を、感情をこめて、スピーチできる。

●学習を進めるに当たって

使用教材	教科書 Sunshine 3 授業配布プリント 「中学英語総仕上げ」 読みトレ100 長文強化プリント(1学期) Watching World(2学期～)	持ち物	教科書 P ノート B5 ファイル
学習の進め方	<授業中の学習について> ・「読む」「聞く」「話す」に重点を置いて、学習を行います。 ・ペアでの練習が中心となります。ペアでの活動時間は、パートナーから学び、また自分の知識や技能を伝えることを大切にしてください。 ・英語を使って、積極的にコミュニケーションをとるようにしよう。今自分の持っている力を最大限に引き出す機会です。間違いを恐れずに、英語だけでなく、ジェスチャーなども使って、何とか相手に伝える努力をしましょう。 <家庭学習について> ・P ノート等を活用し、毎日継続して学習する習慣をつけましょう。 ・「教科書の本文」は、完璧に書けるように努力してください。 ・「中学英語総仕上げ」には、定期的に取り組み、英文を書くときの基礎にしましょう。 ・「読みトレ100」と「Watching World」は、長文読解練習に使用します。長文をなめらかに(詰まらずに)読めるように練習しましょう。 <定期テストについて> ・「テスト予想問題」を活用して、対策を立てて下さい。		
学習上の留意点	・チャイムが鳴るまでに、授業の準備を終え、着席しておいてください。 ・忘れ物をした場合は、授業前に対応してください。 ・授業でわからないときは、友だちや先生に積極的に質問しましょう。 ・提出物の提出期限は必ず守りましょう。万が一、提出できない場合も、必ず先生に報告し、その後の自分の行動を伝えましょう。		

令和7年度

●学習内容及び評価について（英語科 3学年）

学習計画			評価に当たって	
月	単元計画	試験	評価の観点	評価の場面・方法
4	プログラム1(7時間)	中間テスト	知識・技能	定期・実力テスト ・リスニング ・英作文 ・知識・言語理解 本文復習テスト
5	プログラム2(7時間)			
6	プログラム3(7時間)			
7	「有名人にインタビュー」 (7時間)			
8	Reading 1(5時間)	期末テスト	思考・判断・表現	定期・実力テスト ・自由英作文 ・長文読解 パフォーマンステスト (スピーチ、チャット、 ディスカッションなど)
9	プログラム4(7時間)			
10	プログラム5(7時間)			
11	プログラム6(7時間)			
12	プログラム7(7時間)	期末テスト	主体的に学習に取り組む態度	Pノート レポート パフォーマンステスト (本文音読・暗唱など)
1	「日本文化紹介」(7時間)			
2	Reading 2(5時間)			
3	「中学3年間の思い出」 (7時間)			